

W1281

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-259860

(43)Date of publication of application : 13.09.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G06F 13/00

(21)Application number : 2001-052636

(71)Applicant : KYODO PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 27.02.2001

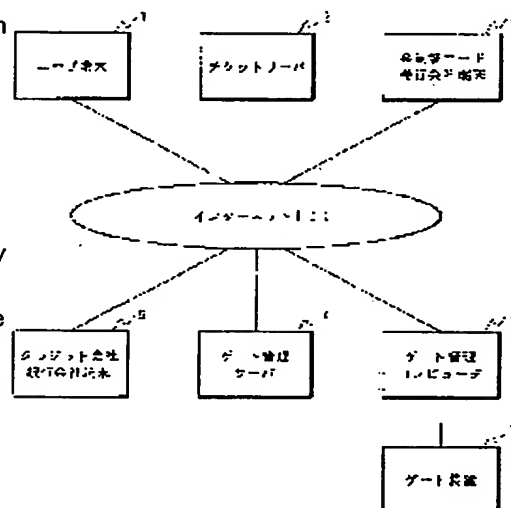
(72)Inventor : KOBAYASHI AKIJI
MORIYA SHINO

(54) TICKET SERVER, PROCESSING METHOD AND PROGRAM THEREOF, ELECTRONIC TICKET SYSTEM, AND GATE MANAGEMENT METHOD AND PROGRAM THEREOF

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic ticket system for managing entry by use of membership data stored on an IC card issued as a membership card, and a gate management method and program thereof.

SOLUTION: A request for issuing a membership card is transmitted from a user's terminal 1 to a membership-card issuing terminal 3 through a ticket server 2 and the membership card is issued which stores the individual information and the primary account number of the applicant. A ticket is reserved by use of the membership card and the primary account number stored on the card is reported from the ticket server 2 to a gate management server 4 upon completion of the reservation. When the user who reserved the ticket goes directly to a site carrying the membership card with him, the primary account number stored on the card is read by a gate device 7 provided at an entrance and is checked against the primary account number information held by the gate management server 4; the user is admitted if the numbers match. Thus, falsification and reselling can be prevented since tickets do not exist as media.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

W1281

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-259860

(P2002-259860A)

(43)公開日 平成14年9月13日(2002.9.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	4 1 0	G 0 6 F 17/60	4 1 0 A
	Z E C		Z E C
	1 4 6		1 4 6 A
	3 2 2		3 2 2
13/00	5 4 7	13/00	5 4 7 V
審査請求 未請求 請求項の数24 O L (全 16 頁)			

(21)出願番号 特願2001-52636(P2001-52636)

(22)出願日 平成13年2月27日(2001.2.27)

(71)出願人 000162113

共同印刷株式会社

東京都文京区小石川4丁目14番12号

(72)発明者 小林 章治

東京都文京区小石川四丁目14番12号 共同
印刷株式会社内

(72)発明者 守倉 紫乃

東京都文京区小石川四丁目14番12号 共同
印刷株式会社内

(74)代理人 100084250

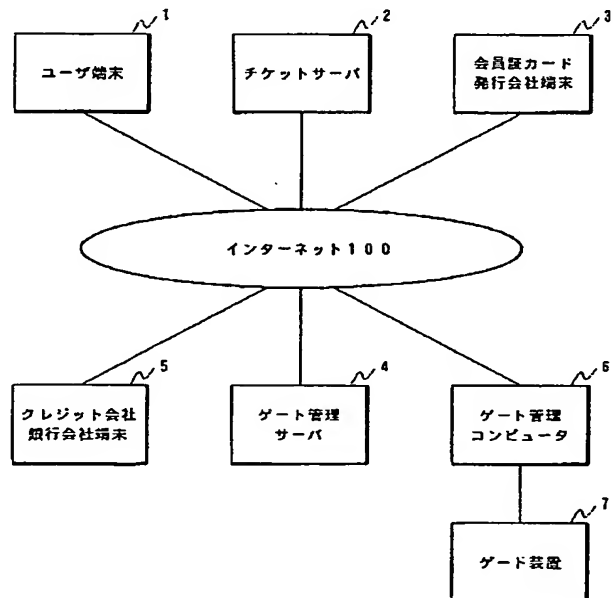
弁理士 丸山 隆夫

(54)【発明の名称】 チケットサーバ、その処理方法及びそのプログラム、並びに電子チケットシステム、そのゲート管理方法及びそのプログラム

(57)【要約】

【課題】 会員証として発行される I C カードに記憶される会員データを用いて入場管理を行う電子チケットシステム、そのゲート管理方法及びそのプログラムを提供する。

【解決手段】 本発明は、ユーザ端末 1 からチケットサーバ 2 を介し、会員証カードの発行依頼を会員証カード発行端末 3 に送信し、申込者の個人情報と会員番号とを記憶した会員証カードを発行する。チケット予約は会員証カードを用いて行い、予約完了時にはカードに記憶される会員番号がチケットサーバ 2 からゲート管理サーバ 4 に通知される。予約したユーザは会員証カードを持って直接会場に行くと、入場口に設けられるゲート装置 7 で会員証カードに記憶されている会員番号が読み取られ、ゲート管理サーバ 4 で保持する会員番号情報との一致判定の結果、一致する場合に入場を許可される。従って、本発明によれば、媒体としてのチケットが存在しないので、偽造や転売を防止することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 IC カードから成る会員証カードを用いてのチケット予約申込情報に基づくチケットの予約可否を判定する判定手段と、

前記判定手段により前記チケットの予約が可能であると判定した場合、前記会員証カードに記憶されている会員番号に基づく該チケットの予約手続を行う予約手段と、前記予約手段による予約完了後に、前記会員番号を、前記チケットの予約により入場許可される会場での入退場を管理する端末装置に送信する送信手段と、を有することを特徴とするチケットサーバ。

【請求項 2】 前記予約手続の際に、前記チケットの代金をユーザにより任意に指定される金融機関の端末装置に課金する課金手段を有することを特徴とする請求項 1 記載のチケットサーバ。

【請求項 3】 前記判定手段により前記チケット予約申込情報に基づく予約可否を判定する際に、現在の予約状況を保持するデータベースを参照して判定することを特徴とする請求項 1 または 2 記載のチケットサーバ。

【請求項 4】 前記送信手段により前記会員番号を送信した後、前記会員証カードを保持するユーザに予約完了の旨を通知する通知手段を有することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のチケットサーバ。

【請求項 5】 IC カードから成る会員証カードを用いてのチケット予約申込情報に基づくチケットの予約可否を判定する判定ステップと、

前記判定ステップにより前記チケットの予約が可能であると判定した場合、前記会員証カードに記憶されている会員番号に基づく該チケットの予約手続を行う予約ステップと、

前記予約ステップによる予約完了後に、前記会員番号を、前記チケットの予約により入場許可される会場での入退場を管理する端末装置に送信する送信ステップと、を有することを特徴とするチケットサーバの処理方法。

【請求項 6】 前記予約手続の際に、前記チケットの代金をユーザにより任意に指定される金融機関の端末装置に課金する課金ステップを有することを特徴とする請求項 5 記載のチケットサーバの処理方法。

【請求項 7】 前記判定ステップにより前記チケット予約申込情報に基づく予約可否を判定する際に、現在の予約状況を保持するデータベースを参照して判定することを特徴とする請求項 5 または 6 記載のチケットサーバの処理方法。

【請求項 8】 前記送信ステップにより前記会員番号を送信した後、前記会員証カードを保持するユーザに予約完了の旨を通知する通知ステップを有することを特徴とする請求項 5 から 7 のいずれか 1 項に記載のチケットサーバの処理方法。

【請求項 9】 IC カードから成る会員証カードを用いてのチケット予約申込情報に基づくチケットの予約可否

を判定する判定処理と、

前記判定処理により前記チケットの予約が可能であると判定した場合、前記会員証カードに記憶されている会員番号に基づく該チケットの予約手続を行う予約処理と、前記予約処理による予約完了後に、前記会員番号を、前記チケットの予約により入場許可される会場での入退場を管理する端末装置に送信する送信処理と、をチケットサーバに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 10】 前記予約手続の際、前記チケットの代金をユーザにより任意に指定される金融機関の端末装置に課金する課金処理を前記チケットサーバに実行させることを特徴とする請求項 9 記載のプログラム。

【請求項 11】 前記判定処理により前記チケット予約申込情報に基づく予約可否を判定する際に、現在の予約状況を保持するデータベースを参照して判定させることを特徴とする請求項 9 または 10 記載のプログラム。

【請求項 12】 前記送信処理により前記会員番号を送信した後、前記会員証カードを保持するユーザに予約完了の旨を通知する通知処理を前記チケットサーバに実行させることを特徴とする請求項 9 から 11 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 13】 ネットワークを介して、ユーザ端末と、チケットサーバと、会員証カード発行会社端末と、ゲート管理サーバと、ゲート装置と、が接続されてなる電子チケットシステムであって、前記会員証カード発行会社端末は、前記チケットサーバを介して、前記ユーザ端末からのカード発行依頼に基づき任意に発行される会員番号並びに個人情報記憶した会員証カードを発行する第 1 の発行手段を有し、

前記チケットサーバは、前記発行された前記会員証カードを用いてチケット予約を行う予約手段と、

前記予約手段により予約完了後に前記会員証カードに記憶されている会員番号と前記予約したチケット情報とを前記ゲート管理サーバに通知する通知手段と、を有し、前記ゲート管理サーバは、

前記通知された前記会員番号を前記チケット情報に関連付けて記憶する記憶手段と、

前記記憶された会員番号と前記ゲート装置により読み出された会員番号との一致判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定結果を前記ゲート装置に送信する送信手段と、を有し、

前記ゲート装置は、

前記会員証カードに記憶されている会員番号を読み取る読み取り手段と、

前記読み取られた会員番号を前記ゲート管理サーバに送信する送信手段と、

前記ゲート管理サーバから送信される判定結果に基づい

てゲートの開閉を制御する開閉制御手段と、
を有することを特徴とする電子チケットシステム。

【請求項 14】 前記カード発行会社端末は、
前記チケットサーバにおいて複数枚のチケットが予約された場合、
前記通知手段により通知される前記会員証カードに記憶されている会員番号に関連付けて、申込者本人を除いた枚数分の補助会員番号を個々に記憶した補助カードを発行する第 2 の発行手段を有することを特徴とする請求項 13 記載の電子チケットシステム。

【請求項 15】 前記会員証カードは、
表面／裏面のいずれか、または、それらの一部の領域に可逆的に印字消去可能なリライト部を有し、
前記ユーザ端末は、
前記予約手段により予約したチケット情報を前記リライト部に印字するリーダ／ライタを具備することを特徴とする請求項 13 または 14 記載の電子チケットシステム。

【請求項 16】 前記電子チケットシステムは、
さらに、前記通信回線を介してクレジット会社／銀行会社端末が接続され、
前記チケットサーバは、
前記予約手段によりチケットの予約完了後、該チケットの代金を前記クレジット会社／銀行会社端末に対して課金する課金手段を有することを特徴とする請求項 13 から 15 のいずれか 1 項に記載の電子チケットシステム。

【請求項 17】 前記チケットサーバは、
前記課金手段による前記チケットの代金を課金後、前記会員証カードに記憶されている会員番号を前記通知手段により前記ゲート管理サーバに通知することを特徴とする請求項 16 記載の電子チケットシステム。

【請求項 18】 ネットワークを介して、ユーザ端末と、チケットサーバと、会員証カード発行会社端末と、ゲート管理サーバと、ゲート装置と、が接続されてなる電子チケットシステムのゲート管理方法であって、
前記会員証カード発行会社端末は、
前記チケットサーバを介して、前記ユーザ端末からのカード発行依頼に基づき任意に発行される会員番号並びに個人情報記憶した会員証カードを発行する第 1 の発行ステップを有し、
前記チケットサーバは、
前記発行された前記会員証カードを用いてチケット予約を行う予約ステップと、
前記予約ステップにより予約完了後に前記会員証カードに記憶されている会員番号と前記予約したチケット情報とを前記ゲート管理サーバに通知する通知ステップと、
を有し、
前記ゲート管理サーバは、
前記通知された前記会員番号を前記チケット情報に関連付けて記憶する記憶ステップと、

前記記憶された会員番号と前記ゲート装置により読み出された会員番号との一致判定を行う判定ステップと、
前記判定ステップによる判定結果を前記ゲート装置に送信する送信ステップと、を有し、
前記ゲート装置は、
前記会員証カードに記憶されている会員番号を読み取る読み取りステップと、
前記読み取られた会員番号を前記ゲート管理サーバに送信する送信ステップと、
前記ゲート管理サーバから送信される判定結果に基づいてゲートの開閉を制御する開閉制御ステップと、
を有することを特徴とする電子チケットシステムのゲート管理方法。

【請求項 19】 前記カード発行会社端末は、
前記チケットサーバにおいて複数枚のチケットが予約された場合、
前記通知ステップにより通知される前記会員証カードに記憶されている会員番号に関連付けて、申込者本人を除いた枚数分の補助会員番号を個々に記憶した補助カードを発行する第 2 の発行ステップを有することを特徴とする請求項 18 記載の電子チケットシステムのゲート管理方法。

【請求項 20】 前記会員証カードは、
表面／裏面のいずれか、または、それらの一部の領域に可逆的に印字消去可能なリライト部を有し、
前記ユーザ端末は、
前記予約ステップにより予約したチケット情報をリーダ／ライタを用いて前記リライト部に印字する印字ステップを有することを特徴とする請求項 18 または 19 記載の電子チケットシステムのゲート管理方法。

【請求項 21】 前記電子チケットシステムは、
さらに、前記通信回線を介してクレジット会社／銀行会社端末が接続され、
前記チケットサーバは、
前記予約ステップによりチケットの予約完了後、該チケットの代金を前記クレジット会社／銀行会社端末に対して課金する課金ステップを有することを特徴とする請求項 18 から 20 のいずれか 1 項に記載の電子チケットシステムのゲート管理方法。

【請求項 22】 前記チケットサーバは、
前記課金ステップによる前記チケットの代金を課金後、前記会員証カードに記憶されている会員番号を前記通知ステップにより前記ゲート管理サーバに通知することを特徴とする請求項 21 記載の電子チケットシステムのゲート管理方法。

【請求項 23】 ネットワークを介して、ユーザ端末と、チケットサーバと、会員証カード発行会社端末と、ゲート管理サーバと、ゲート装置と、が接続されてなる電子チケットシステムのプログラムであって、
前記会員証カード発行会社端末に、

前記チケットサーバを介して、前記ユーザ端末からのカード発行依頼に基づき任意に発行される会員番号並びに個人情報記憶した会員証カードを発行する第1の発行処理を実行させ、

前記チケットサーバに、

前記発行された前記会員証カードを用いてチケット予約を行う予約処理と、

前記予約処理により予約完了後に前記会員証カードに記憶されている会員番号と前記予約したチケット情報とを前記ゲート管理サーバに通知する通知処理と、を実行させ、

前記ゲート管理サーバに、

前記通知された前記会員番号を前記チケット情報に関連付けて記憶する記憶処理と、

前記記憶された会員番号と前記ゲート装置により読み出された会員番号との一致判定を行う判定処理と、

前記判定処理による判定結果を前記ゲート装置に送信する送信処理と、を実行させ、

前記ゲート装置に、

前記会員証カードに記憶されている会員番号を読み取る読み取り処理と、

前記読み取られた会員番号を前記ゲート管理サーバに送信する送信処理と、

前記ゲート管理サーバから送信される判定結果に基づいてゲートの開閉を制御する開閉制御処理と、

を実行させることを特徴とする電子チケットシステムのプログラム。

【請求項24】 前記カード発行会社端末に、

前記チケットサーバにて複数枚のチケットが予約された場合、

前記通知処理により通知される前記会員証カードに記憶されている会員番号に関連付けて、申込者本人を除いた枚数分の補助会員番号を個々に記憶した補助カードを発行する第2の発行処理を実行させることを特徴とする請求項23記載の電子チケットシステムのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、チケットサーバ、その処理方法及びそのプログラム、並びに電子チケットシステム、そのゲート管理方法及びそのプログラムに関し、特にICカードを会員証として取り扱う際のチケットサーバ、その処理方法及びそのプログラム、並びに電子チケットシステム、そのゲート管理方法及びそのプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】昨今、各種興行としてのコンサートやスポーツ観戦、あるいは演劇等のチケットは、紙ベースにより発券されるものが多数であるため、その偽造や転売といった問題が年々深刻化している。

【0003】例えば、正当に入手したチケットを複写機

により複写あるいはスキャナ等で読み取ってパソコンに取り込み画像補正するといった方法により、不正に偽造チケットが作成されている。このような偽造チケットを用いての会場への入場、または、プレミアチケットとして転売されることにより値段が吊り上げられるといったことが頻繁に起こっているのが現状である。

【0004】このような偽造チケットがインターネットオークションなどのように、相手の見えない状況下で競売にかけられた場合は、チケットの真偽を確かめる手段がないため、競り落とした代金を支払ったものの、入手したチケットは偽造であったということもあった。

【0005】従来のチケットの販売方法を以下に示す。例えば、コンサートチケットを購入しようとした場合、予めユーザが電話やインターネット等を用いてチケット販売店にアクセスして予約を完了する。この際に発行される引き換えNo.（あるいはユーザの識別番号）をチケットカウンタやコンビニエンスストア等で提示することにより、チケット代金を徴収された後、直接発券処理が行われたり、あるいは、代金の振り込み等による支払いの完了確認を行った後でチケットが郵送されるといったものが主流であった。

【0006】また、イベントチケットや映画鑑賞券などを購入しようとした場合、ユーザは直接チケットカウンタに向いてチケット代金を支払い後、チケットが引き渡されるものであった。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述されるような発券処理においては、ユーザがチケットを受け取るために、チケットカウンタやコンビニエンスストア等に向いて、チケットを受け取るための手続きを行わなければならないという問題点があった。

【0008】また、チケットの予約及び支払い手続きを完了後、チケットが郵送されてくる場合は、深夜のような特殊な時間帯に受け取ることができず、また、受け取り人が不在である場合には配送されないといったことがあるため、後日再配送してもらう手続きを取るか、あるいは、ユーザが直接配送物を引き取りに行かなければチケットを受け取ることができないといった問題点があった。

【0009】また、従来のチケットは、紙ベースの発券であるため、発券された後の譲渡、転売が容易であり、上述するようなプレミアと称する不正な金額での取引が行われやすく、場合によっては、インターネットオークションなどを用いて定価の数十倍もの価格で取引されるといった問題点があった。

【0010】さらに、同時に異なる複数のチケットを購入した場合に、ユーザは、紙ベースで発券されるチケットを複数枚所有することとなり、紛失や破損といった可能性があるといった問題点があった。

【0011】本発明は、上記問題点に鑑みて成されたも

のであり、会員証として発行されるICカードに記憶される会員データ（会員番号や個人情報）を用いて、入場管理を行うことのできるチケットサーバ、その処理方法及びそのプログラム、並びに電子チケットシステム、そのゲート管理方法及びそのプログラムを提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、請求項1記載の発明は、ICカードから成る会員証カードを用いてのチケット予約申込情報に基づくチケットの予約可否を判定する判定手段と、判定手段によりチケットの予約が可能であると判定した場合、会員証カードに記憶されている会員番号に基づく該チケットの予約手続を行う予約手段と、予約手段による予約完了後に、会員番号を、チケットの予約により入場許可される会場での入退場を管理する端末装置に送信する送信手段と、を有することを特徴とする。

【0013】請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、予約手続の際に、チケットの代金をユーザにより任意に指定される金融機関の端末装置に課金する課金手段を有することを特徴とする。

【0014】請求項3記載の発明は、請求項1または2記載の発明において、判定手段によりチケット予約申込情報に基づく予約可否を判定する際に、現在の予約状況を保持するデータベースを参照して判定することを特徴とする。

【0015】請求項4記載の発明は、請求項1から3のいずれか1項に記載の発明において、送信手段により会員番号を送信した後、会員証カードを保持するユーザに予約完了の旨を通知する通知手段を有することを特徴とする。

【0016】請求項5記載の発明は、ICカードから成る会員証カードを用いてのチケット予約申込情報に基づくチケットの予約可否を判定する判定ステップと、判定ステップによりチケットの予約が可能であると判定した場合、会員証カードに記憶されている会員番号に基づく該チケットの予約手続を行う予約ステップと、予約ステップによる予約完了後に、会員番号を、チケットの予約により入場許可される会場での入退場を管理する端末装置に送信する送信ステップと、を有することを特徴とする。

【0017】請求項6記載の発明は、請求項5記載の発明において、予約手続の際に、チケットの代金をユーザにより任意に指定される金融機関の端末装置に課金する課金ステップを有することを特徴とする。

【0018】請求項7記載の発明は、請求項5または6記載の発明において、判定ステップによりチケット予約申込情報に基づく予約可否を判定する際に、現在の予約状況を保持するデータベースを参照して判定することを特徴とする。

【0019】請求項8記載の発明は、請求項5から7のいずれか1項に記載の発明において、送信ステップにより会員番号を送信した後、会員証カードを保持するユーザに予約完了の旨を通知する通知ステップを有することを特徴とする。

【0020】請求項9記載の発明は、ICカードから成る会員証カードを用いてのチケット予約申込情報に基づくチケットの予約可否を判定する判定処理と、判定処理によりチケットの予約が可能であると判定した場合、会員証カードに記憶されている会員番号に基づく該チケットの予約手続を行う予約処理と、予約処理による予約完了後に、会員番号を、チケットの予約により入場許可される会場での入退場を管理する端末装置に送信する送信処理と、をチケットサーバに実行させることを特徴とする。

【0021】請求項10記載の発明は、請求項9記載の発明において、予約手続の際、チケットの代金をユーザにより任意に指定される金融機関の端末装置に課金する課金処理をチケットサーバに実行させることを特徴とする。

【0022】請求項11記載の発明は、請求項9または10記載の発明において、判定処理によりチケット予約申込情報に基づく予約可否を判定する際に、現在の予約状況を保持するデータベースを参照して判定させることを特徴とする。

【0023】請求項12記載の発明は、請求項9から11のいずれか1項に記載の発明において、送信処理により会員番号を送信した後、会員証カードを保持するユーザに予約完了の旨を通知する通知処理をチケットサーバに実行させることを特徴とする。

【0024】請求項13記載の発明は、ネットワークを介して、ユーザ端末と、チケットサーバと、会員証カード発行会社端末と、ゲート管理サーバと、ゲート装置と、が接続されてなる電子チケットシステムであって、会員証カード発行会社端末は、チケットサーバを介して、ユーザ端末からのカード発行依頼に基づき任意に発行される会員番号並びに個人情報を記憶した会員証カードを発行する第1の発行手段を有し、チケットサーバは、発行された会員証カードを用いてチケット予約を行う予約手段と、予約手段により予約完了後に会員証カードに記憶されている会員番号と予約したチケット情報とをゲート管理サーバに通知する通知手段と、を有し、ゲート管理サーバは、通知された会員番号をチケット情報に関連付けて記憶する記憶手段と、記憶された会員番号とゲート装置により読み出された会員番号との一致判定を行う判定手段と、判定手段による判定結果をゲート装置に送信する送信手段と、を有し、ゲート装置は、会員証カードに記憶されている会員番号を読み取る読み取り手段と、読み取られた会員番号をゲート管理サーバに送信する送信手段と、ゲート管理サーバから送信される判

定結果に基づいてゲートの開閉を制御する開閉制御手段と、を有することを特徴とする。

【0025】請求項14記載の発明は、請求項13記載の発明において、カード発行会社端末は、チケットサーバにおいて複数枚のチケットが予約された場合、通知手段により通知される会員証カードに記憶されている会員番号に関連付けて、申込者本人を除いた枚数分の補助会員番号を個々に記憶した補助カードを発行する第2の発行手段を有することを特徴とする。

【0026】請求項15記載の発明は、請求項13または14記載の発明において、会員証カードは、表面／裏面のいずれか、または、それらの一部の領域に可逆的に印字消去可能なリライト部を有し、ユーザ端末は、予約手段により予約したチケット情報をリライト部に印字するリーダ／ライタを具備することを特徴とする。

【0027】請求項16記載の発明は、請求項13から15のいずれか1項に記載の発明において、電子チケットシステムは、さらに、通信回線を介してクレジット会社／銀行会社端末が接続され、チケットサーバは、予約手段によりチケットの予約完了後、該チケットの代金をクレジット会社／銀行会社端末に対して課金する課金手段を有することを特徴とする。

【0028】請求項17記載の発明は、請求項16記載の発明において、チケットサーバは、課金手段によるチケットの代金を課金後、会員証カードに記憶されている会員番号を通知手段によりゲート管理サーバに通知することを特徴とする。

【0029】請求項18記載の発明は、ネットワークを介して、ユーザ端末と、チケットサーバと、会員証カード発行会社端末と、ゲート管理サーバと、ゲート装置と、が接続されてなる電子チケットシステムのゲート管理方法であって、会員証カード発行会社端末は、チケットサーバを介して、ユーザ端末からのカード発行依頼に基づき任意に発行される会員番号並びに個人情報を記憶した会員証カードを発行する第1の発行ステップを有し、チケットサーバは、発行された会員証カードを用いてチケット予約を行う予約ステップと、予約ステップにより予約完了後に会員証カードに記憶されている会員番号と予約したチケット情報とをゲート管理サーバに通知する通知ステップと、を有し、ゲート管理サーバは、通知された会員番号をチケット情報に関連付けて記憶する記憶ステップと、記憶された会員番号とゲート装置により読み出された会員番号との一致判定を行う判定ステップと、判定ステップによる判定結果をゲート装置に送信する送信ステップと、を有し、ゲート装置は、会員証カードに記憶されている会員番号を読み取る読み取りステップと、読み取られた会員番号をゲート管理サーバに送信する送信ステップと、ゲート管理サーバから送信される判定結果に基づいてゲートの開閉を制御する開閉制御ステップと、を有することを特徴とする。

【0030】請求項19記載の発明は、請求項18記載の発明において、カード発行会社端末は、チケットサーバにおいて複数枚のチケットが予約された場合、通知ステップにより通知される会員証カードに記憶されている会員番号に関連付けて、申込者本人を除いた枚数分の補助会員番号を個々に記憶した補助カードを発行する第2の発行ステップを有することを特徴とする。

【0031】請求項20記載の発明は、請求項18または19記載の発明において、会員証カードは、表面／裏面のいずれか、または、それらの一部の領域に可逆的に印字消去可能なリライト部を有し、ユーザ端末は、予約ステップにより予約したチケット情報をリーダ／ライタを用いてリライト部に印字する印字ステップを有することを特徴とする。

【0032】請求項21記載の発明は、請求項18から20のいずれか1項に記載の発明において、電子チケットシステムは、さらに、通信回線を介してクレジット会社／銀行会社端末が接続され、チケットサーバは、予約ステップによりチケットの予約完了後、該チケットの代金をクレジット会社／銀行会社端末に対して課金する課金ステップを有することを特徴とする。

【0033】請求項22記載の発明は、請求項21記載の発明において、チケットサーバは、課金ステップによるチケットの代金を課金後、会員証カードに記憶されている会員番号を通知ステップによりゲート管理サーバに通知することを特徴とする。

【0034】請求項23記載の発明は、ネットワークを介して、ユーザ端末と、チケットサーバと、会員証カード発行会社端末と、ゲート管理サーバと、ゲート装置と、が接続されてなる電子チケットシステムのプログラムであって、会員証カード発行会社端末に、チケットサーバを介して、ユーザ端末からのカード発行依頼に基づき任意に発行される会員番号並びに個人情報を記憶した会員証カードを発行する第1の発行処理を実行させ、チケットサーバに、発行された会員証カードを用いてチケット予約を行う予約処理と、予約処理により予約完了後に会員証カードに記憶されている会員番号と予約したチケット情報とをゲート管理サーバに通知する通知処理と、を実行させ、ゲート管理サーバに、通知された会員番号をチケット情報に関連付けて記憶する記憶処理と、記憶された会員番号とゲート装置により読み出された会員番号との一致判定を行う判定処理と、判定処理による判定結果をゲート装置に送信する送信処理と、を実行させ、ゲート装置に、会員証カードに記憶されている会員番号を読み取る読み取り処理と、読み取られた会員番号をゲート管理サーバに送信する送信処理と、ゲート管理サーバから送信される判定結果に基づいてゲートの開閉を制御する開閉制御処理と、を実行させることを特徴とする。

【0035】請求項24記載の発明は、請求項23記載

の発明において、カード発行会社端末に、チケットサーバにて複数枚のチケットが予約された場合、通知処理により通知される会員証カードに記憶されている会員番号に関連付けて、申込者本人を除いた枚数分の補助会員番号を個々に記憶した補助カードを発行する第2の発行処理を実行させることを特徴とする。

【0036】

【発明の実施の形態】次に、添付図面を参照しながら本発明の実施形態であるチケットサーバ、その処理方法及びそのプログラム、並びに電子チケットシステム、そのゲート管理システム及びそのプログラムを詳細に説明する。

【0037】図1は、本発明の実施形態である電子チケットシステムの概略構成を示すブロック図である。図1において、本発明の実施形態である電子チケットシステムは、インターネット100を介して、ユーザ端末1と、チケットサーバ2と、会員証カード発行会社端末3と、ゲート管理サーバ4と、クレジット会社端末5と、ゲート管理コンピュータ6と、が接続され、ゲート管理コンピュータ6にはゲート装置7が接続されている。

【0038】ユーザ端末1は、インターネット100にアクセス可能な携帯情報端末や各家庭で利用されるパソコン、コンビニエンスストア等に設置されている情報端末装置などであり、ユーザによって使用される端末装置を総称するものである。

【0039】チケットサーバ2は、コンサートや映画、イベント等の入場券を販売するチケット販売会社によって管理されるサーバ装置である。このチケットサーバ2では、ユーザからのチケット予約の受付を行うと共に、予約のあったユーザの会員番号情報をゲート管理サーバ4へ送信する。また、チケット代金に関しては、クレジット会社／銀行会社端末5から、ユーザのカード番号に基づく課金処理が行われる。

【0040】会員証カード発行会社端末3は、チケット販売会社の会員であることを証明するためのICカードからなる会員証カードを発行する。本実施形態においては、上記チケット販売会社により管理されるチケットサーバ2からのカード発行依頼に基づき会員証カードを発行するものであるが、必ずしもチケット販売会社による会員証カードに限定されるものでなく、デパートカードやその他の会員証として機能するカードであれば、その使用形態並びに発行依頼先を問うものではない。

【0041】ゲート管理サーバ4は、チケットサーバ2で予約を受け付けた会員番号の情報を、予約のあったコンサート、イベント等の名称並びに会場名と共にゲート管理情報として保持する大容量のデータベースを備えるサーバ装置である。ゲート管理コンピュータ6から最新のゲート管理情報の問い合わせがあると、ゲート管理サーバ4は、ゲート管理コンピュータ6で管理するゲート装置7を備える会場名に基づいて、最新のゲート管理情

報を読み出し、ゲート管理コンピュータ6にダウンロードする。

【0042】クレジット会社／銀行会社端末5は、チケット予約時にクレジットカードによる引き落とし、または、銀行口座からの引き落としによる支払いを選択したユーザに対して、チケット代金の徴収を電子的に行うために設けられるものである。チケット代金の徴収を電子的に行う場合には、チケットサーバ2でチケット予約を行う際に、ユーザ端末1からクレジットカード番号や銀行口座番号の情報を送信し、チケットサーバ2とクレジット会社／銀行会社端末5との間で認証処理が行われると、チケット代金の課金が行われる。なお、課金の処理に関しては、必ずしも電子的に行う必要はなく、チケットカウンタやコンビニエンスストアなどで代金を支払うといった方法や指定口座への代金の振り込みといった方法も可能である。

【0043】ゲート管理コンピュータ6は、ゲート装置7においてゲート開閉を許可された会員番号情報をデータベースにて保持し、当該ゲート装置7で会員証カード(ICカード)に記憶されている会員番号を読み取った際、上記データベースに保持されている会員番号との一致判定を行い、ゲート開閉を制御する。また、ゲート管理コンピュータ6は、定期的にゲート管理サーバ4にアクセスして最新のゲート管理情報をダウンロードする。

【0044】なお、このダウンロードする時間は、任意に設定することが可能であり、例えば、コンサート等の場合には、開場時間の5分前といった設定も可能であるし、1日中行われるイベント等の場合には、午前9時から10分毎にという具合に常に最新のゲート管理情報を更新できるよう設定することも可能である。

【0045】ゲート装置7は、会員証カードに記憶されている情報を接触／非接触で読み取るための読み取り機能を備えるゲート開閉装置である。このゲート装置7は、入場希望者が携帯している会員証カードの情報を読み取ると、読み取った会員番号をゲート管理コンピュータ6に転送し、当該ゲート管理コンピュータ6で一致判定を行った結果に基づいてゲートの開閉を行う。

【0046】また、上述する会員証カード(ICカード)は、接触型／非接触型のいずれでも構わないが、そのカード面の一部に、サーマルヘッド等により加熱することで情報を可逆的に記録消去可能なリライト部(可逆性感熱記録部)を設けるとよい。このリライト部には、チケット予約時のチケット情報が印字される。

【0047】図2は、会員証カードの実施例を示す平面図であり、図2(a)にカード表面を、図2(b)にカード裏面を示す。図2(a)に示すように、カード表面には、会員証カードを発行している会社あるいは団体のロゴマーク(会社名でも可)21と、会員番号情報22と、会員名23と、が印刷形成されている。また、図2(b)に示すように、カード裏面は、全面リライト可能

に形成されており、予約したチケット情報として、コンサート名24と、日時情報25と、開演時間情報26と、購入金額情報27と、会場名28と、席情報29と、が印字されている。なお、カード表面／裏面に配置される情報のレイアウトは、適宜変更可能であり、カード裏面においては、必ずしも全面リライト可能に形成する必要はなく、一部の領域であっても構わない。

【0048】また、本実施形態において会員証カードの仕様を搬送周波数13.56MHz、通信速度80kbit/s、通信距離約10cm、メモリ容量128ビットとして形成したが、これに限定されるものではない。

【0049】例えば、リーダ／ライタを備えるユーザ端末（コンビニエンスストア等に設置）を用いた場合には、チケット予約を行う際に、リーダ／ライタに会員証カードを挿入した状態でチケット予約を完了すると、チケット面に予約したチケット情報として、チケット名、会場、開演時間、席情報、などが印字される。この印字処理に関しては、視認性に優れたロイコリライト方式を採用し、例えば、銀色に青色印字を行うことで文字を鮮明に表示することができる。また、1つのサーマルヘッドで消去／印字を同時に行うため、カード裏面の全面にリライト部が設けられた場合の全面書き換えであれば約10秒程度で済み、部分的な書き換えであれば約6秒程度で書き換えることができる。

【0050】図3は、本発明の実施形態である電子チケットシステムの会員証カードの発行処理を示すシーケンスチャートである。まず、ユーザ端末1からチケットサーバ2に対してアクセス要求を送信する（ステップS1）。チケットサーバ2は、アクセス要求を受信すると、ホームページをユーザ端末1に送信する（ステップS2）。

【0051】この時、ユーザが会員証カードを保持していない場合には、最初に会員証カードの発行を依頼するため、ホームページ上に表示される項目から「新規会員登録」というようなタグをクリックすることで、カード申込ページを要求する（ステップS3）。チケットサーバ2は、カード申込ページをユーザ端末1に送信する（ステップS4）。

【0052】図4は、会員証カード申込ページの実施例を示す平面図である。図4に示すように、カード申込ページには、ユーザの個人情報として、氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、電子メールアドレス等の入力項目が設けられている。ユーザは、上記各項目に個人情報を入力した後、送信ボタンをクリックして申込情報を送信する。また、入力内容に修正がある場合には、送信ボタンをクリックした後でも修正ボタンをクリックすることにより送信を中止し、修正することができる。また、申込処理をキャンセルしたい場合には、キャンセルボタンをクリックすると、ホームページ画面に戻すことができる。

【0053】ユーザは、図4に示すようなカード申込ページの内容を確認し、必要事項を入力すると（ステップS5）、送信ボタンをクリックすることにより申込情報をチケットサーバ2に送信する（ステップS6）。申込情報を受信したチケットサーバ2には、申込内容に誤りが確認した後、ユーザ端末1に申込受付完了を通知すると共に（ステップS7）、カード発行会社端末3に対して、カードの発行依頼を送信する（ステップS8）。

【0054】カード発行会社端末3は、チケットサーバ2からの発行依頼を受信すると、ICカードに記憶するための登録情報（ユーザからの申込情報）をチケットサーバ2に要求する（ステップS9）。チケットサーバ2は、登録情報の要求を受け付けると、ステップS6においてユーザ端末2から送信された申込情報をカード登録情報としてカード発行会社端末3に送信する（ステップS10）。

【0055】カード発行会社端末3は、受信したカード登録情報をICチップに記憶した会員証カードを作成する（ステップS11）。会員証カードを作成すると、カード発行会社端末3は、カード発行申込時に入力されたカード送付先住所に基づいてカードの発送処理を行うと共に（ステップS12）、作成したカードが発送済みである旨をチケットサーバ2に送信する（ステップS13）。以上の処理により、新規ユーザは、会員証カードを手にすることができる。

【0056】また、カード発行会社端末3からカード発送済み通知をチケットサーバ2に送信した際に、カード発行の申込者がメールアドレスを通知していた場合に限って、カードの到着予定日やカードの利用方法などを明記した電子メールを送信してもよい。

【0057】図5は、本発明の実施形態である電子チケットシステムのチケット予約の処理を示すシーケンスチャートである。まず、ユーザ端末1からチケットサーバ2に対してアクセス要求を送信する（ステップS21）。チケットサーバ2は、アクセス要求を受信すると、ホームページをユーザ端末1に送信する（ステップS22）。

【0058】ユーザは、ユーザ端末1に表示されたホームページ上に表示される項目から「チケット予約」というようなタグをクリックすることで、希望チケットの申込ページを立ち上げ、希望チケット入力欄に希望チケット情報（コンサート名、日時、チケット枚数、席指定など）を入力して送信する（ステップS23）。

【0059】図6は、希望チケット情報の入力ページの実施例を示す平面図である。図6に示すように、希望チケット入力ページには、チケット予約を希望するアーティスト名やイベント名、開催日や開演時間（舞台などの場合には何時から、といった時間指定も可能）、希望購入枚数、などの入力欄が設けられている。

【0060】チケットサーバ2は、上記送信された希望

チケット情報を受信すると、当該希望チケット情報に該当するチケットの現在の予約状況を確認し（ステップ24）、該当チケットが存在する場合には、その旨をユーザ端末1に通知する（ステップS25）。

【0061】なお、ステップS24において、該当チケットがない、または、売り切れといった場合には、新たな希望チケット情報の入力をユーザに促すメッセージ、または、売り切れであるといったメッセージをユーザ端末に送信する。

【0062】希望チケットが存在する旨を通知されたユーザ端末1は、そのチケットの予約を行うために必要な予約情報としての個人情報を送信する（ステップS26）。例えば、ユーザ端末にICカードリーダーまたはICカードリーダー/ライタが設けられている場合は、予約情報の入力処理を行わず、会員証カードをリーダー/ライタに挿入した状態で予約処理を行うようにし、自動的に会員証カードから読み取って予約情報（ユーザの個人情報）を送信するようにすることで、煩わしい入力処理を行わずに予約情報を送信することができる。

【0063】チケットサーバ2は、予約情報を受信すると、会員か否かを照合し、ユーザ端末1に対してチケット代金の支払い方法を問い合わせる（ステップS27）。このとき、チケットサーバ2内に会員情報が記憶されていない場合は、会員情報が記憶されているサーバまたはホストコンピュータ等に対して照合してもよい。ここでの支払い方法としては、クレジットカード、銀行カード（デビットカード機能）、といったその場で決済が可能な方法が好ましいが、指定口座への振込や店頭での代金支払いといった方法も可能である。

【0064】ユーザ端末1は、クレジットカードによる支払いを選択した場合、クレジットカードの番号並びに有効期限をチケットサーバ2に支払い方法として送信し（ステップS28）、チケットサーバ2は、その場でクレジット会社端末5にカードの認証要求を行う（ステップS29）。カードの認証が完了すると（ステップS30）、チケット代金の支払いを要求し（ステップS31）、代金の支払いが完了する（ステップS32）。

【0065】代金の支払いが完了すると、チケットサーバ2は、ゲート管理サーバ4に予約完了したユーザの会員番号を、当該ユーザの予約したチケット情報と共に送信し（ステップS33）、ゲート管理サーバ4のデータベースに登録する（ステップS34）。ゲート管理サーバ4は、データベースへの会員番号の登録を完了すると、登録完了通知をチケットサーバ2に対して送信する（ステップS35）。チケットサーバ2は、全ての予約処理が完了した時点でユーザ端末1に対して、予約完了通知を送信する（ステップS36）。

【0066】なお、この段階で予約は完了しているが、目に見える状態になっていないので、ユーザ端末1に対してチケット情報を送信して表示させ、当該表示された

内容をユーザ自身が印刷できるようにしてもよく、また、後日、ユーザが店頭に出向いて会員証カードに設けられたリライト部に印字させるようにしてもよい。

【0067】例えば、チケット代金の支払い方法として、銀行振込を利用した場合には、指定口座へのチケット代金の振り込みが完了した時点で、ステップS33による会員番号の登録処理を行い、ステップS36における予約完了通知を申込時に指定したメールアドレスに電子メールで送信することも可能である。

【0068】また、チケット代金の支払い方法として、コンビニエンスストアでの支払いを希望する場合には、代金支払い後にステップS33による会員番号の登録処理を行い、予約完了通知を申込時に指定したメールアドレスに電子メールで送信することも可能である。また、メールアドレスを持っていないユーザに対しては、郵送で予約完了通知書を送ることも可能である。

【0069】また、複数のチケットの購入を希望する場合には、上述と同様の処理を行うが、ゲート管理サーバ4のデータベースへの会員番号登録の際に（ステップS34）、申し込まれた希望人数分を申込者の会員番号情報に関連付けて登録する。例えば、申込者本人の会員番号を「12345」とした場合、本人を除いた人数分の補助会員番号として「12345-1、12345-2、・・・12345-n」というようにして、上記データベースへ登録する。

【0070】チケットサーバ2に対して登録完了通知が送信されると（ステップS35）、購入者以外的人数分の補助カードの発行をカード発行会社端末3に依頼し、ゲート管理サーバ4のデータベースに登録された申込者以外的人数分のデータ（補助会員番号）をそれぞれ別々に補助カードに記憶させ、申込者であるユーザに発送する。また、この補助カードの発送先を申込者以外の人々の個々の住所に送信を希望する場合には、別途入力処理を行うことにより指定することも可能である。

【0071】図7は、補助カードの実施例を示す平面図であり、カード表面を図7（a）に示し、カード裏面を図7（b）に示す。図7（a）に示すように、カード表面には、補助カードを発行している会社あるいは団体のロゴマーク71と、会場で補助カードを返却する注意を促すメッセージ72と、が印刷形成されている。また、図7（b）に示すように、カード裏面は、全面リライト可能に形成されており、予約したチケット情報として、コンサート名74と、日時情報75と、開園時間情報76と、購入金額情報77と、会場名78と、席情報79と、が印字されている。なお、カード表面/裏面に配置される情報のレイアウトは、適宜変更可能であり、カード裏面においては、必ずしも全面リライト可能に形成する必要はなく、一部の領域であっても構わない。

【0072】この補助カードは、カード表面にメッセージ72として印刷されているように、会場でゲートを通

過した直後に回収することで再利用が可能となる。

【0073】また、複数のチケットを購入する場合には、補助カードを発行する以外に、予約完了通知を郵送する際に、購入者以外のチケットを同伴者用チケットとして紙ベースで郵送することも可能であるが、この場合、購入者と同伴者は別のゲートを通ることとなる。

【0074】図8は、ユーザによる実際のチケット予約を店頭（チケット販売店）で行う際のフローチャートである。まず、申込者であるユーザが既に所持しているか、あるいは、上述する方法により入手した会員証カードを携帯して店頭へ行く（ステップS81）。次に、希望するチケット情報を口頭で伝え、会員証カードを提示する（ステップS82）。店員は、希望するチケット情報に基づくチケットが存在するか否かを確認した後、希望するチケットが有る場合には、必要事項をユーザに確認して予約手続を行う（ステップS83）。予約手続が完了すると、チケット代金の支払いを済ませ、店頭に設けられている端末装置に接続されているリーダ／ライタに会員証カードを挿入して（ステップS84）、会員証カードにチケット情報を印字する指示を与える（ステップS85）。予約手続が完了した時点で、自動的にゲート管理サーバ4に対して予約完了した会員番号情報が送信され、データベースに記憶される。なお、この場合には、店頭に設けられる端末装置がユーザ端末に相当するものである。

【0075】図9は、ユーザによる実際のチケット予約を電話にて行う際のフローチャートである。まず、申込者であるユーザは、チケット予約の受け付け電話番号（チケット販売店）に電話し（ステップS91）、既に上述する方法により入手した会員証カードに印字されている会員番号を自動ガイダンスの場合には入力し（ステップS92）、オペレータの場合には口頭で伝える。次に、希望するチケット情報を入力、あるいは、口頭で伝達すると（ステップS93）、希望するチケット情報に基づくチケットが存在するか否かが確認される（ステップS94）。希望するチケットが有る場合には、必要事項をユーザに確認して予約手続を行う（ステップS95）。予約手続が完了すると、予約が完了した旨と共に予約番号をユーザに通知する（ステップS96）。予約が完了した旨を通知されたユーザは、会員証カードを携帯して店頭に行く（ステップS97）。ユーザは、店頭で会員証カードと共に、予約完了時に通知された予約番号を提示し（ステップS98）、店員が会員証カードに記載されている会員番号と提示された予約番号とに基づくチケットの確認を行う（ステップS99）。予約したチケットが確認されると、チケット代金の支払いを済ませ（ステップS100）、店頭に設けられている端末装置に接続されているリーダ／ライタに会員証カードを挿入して（ステップS101）、会員証カードにチケット情報を印字する（ステップS102）。予約手続が完了

した時点で、自動的にゲート管理サーバ4に対して予約完了した会員番号情報が送信され（ステップS103）、データベースに記憶される。なお、この場合には、店頭に設けられる端末装置がユーザ端末に相当するものである。

【0076】図10は、チケット予約を完了したユーザが実際にゲートを通る際の処理例を示すシーケンスチャートである。ゲート管理コンピュータ6は、予め指定された任意の時間に最新のゲート情報をゲート管理サーバ4に対して要求する（ステップS51）。ゲート管理サーバ4は、要求された日時に応じて最新のゲート情報をデータベースから取得し（ステップS52）、ゲート管理コンピュータ6に送信する（ステップS53）。ゲート管理コンピュータ6は、ゲート管理サーバ4からダウンロードした最新のゲート情報をデータベースに登録する（ステップS54）。

【0077】ゲート装置7は、会員証カードを携帯したユーザがゲートを通ようとする際に、当該会員証カードに記憶されている会員番号の読み出しが要求されると（ステップS55）、会員証カードに記憶されている会員番号が読み出される（ステップS56）。ゲート装置7は、読み出した会員番号をゲート管理コンピュータ6に送信し（ステップS57）、データベースに登録されている会員番号との一致判定を行う（ステップS58）。

【0078】ステップS58において、データベースに登録されている会員番号とゲート装置7により読み出された会員番号とが一致した場合には、ゲート管理コンピュータ6からゲート装置7に対して入場許可信号を送信する（ステップS59）。ゲート装置7は、入場許可信号を受信するとゲート開き（ステップS60）、ユーザの入場を許可する。

【0079】次に、別の会員証カードを携帯したユーザがゲートを通ようとする際に、当該会員証カードに記憶されている会員番号の読み出しが要求されると（ステップS61）、会員証カードに記憶されている会員番号が読み出される（ステップS62）。ゲート装置7は、読み出した会員番号をゲート管理コンピュータ6に送信し（ステップS63）、データベースに登録されている会員番号との一致判定を行う（ステップS64）。

【0080】ステップS64において、データベースに登録されている会員番号とゲート装置7により読み出された会員番号とが一致しない場合には、ゲート管理コンピュータ6からゲート装置7に対して入場不許可信号を送信する（ステップS65）。ゲート装置7は、入場不許可信号を受信するとゲートを閉じ（ステップS66）、ユーザの入場を拒否する。

【0081】ゲート管理コンピュータ6では、一致判定を行った会員番号の判定回数をカウントして記憶する機能を設け、その判定回数の限度数を任意に設定しておく

ことにより、何度も入場を繰り返す会員番号に対してはゲートを開放しないようにすることも可能である。

【0082】また、上述される各動作を実現するため、ユーザ端末1、チケットサーバ2、会員証カード発行会社端末3、ゲート管理サーバ4、クレジット会社／銀行会社端末5、ゲート管理コンピュータ6、ゲート装置7のそれぞれは、各々の動作を制御するためのプログラムを記録した記録媒体を備えている。この記録媒体としては、磁気ディスク、半導体メモリ、CD-ROM、その他の記録媒体であってもよい。上述する各端末(1～7)は、記録媒体と共に、当該記録媒体に記録されている制御プログラムを読み出して処理を実行するための不図示のデータ処理装置(CPUなど)を有して構成されている。

【0083】なお、上述される実施形態は、本発明の好適な実施形態であり、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変形して実施することが可能である。

【0084】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明によれば、ICカードからなる会員証カードに記憶されている会員番号や個人情報をを用いてチケット管理を行うので、安易な譲渡を防ぎ、不正取引を防止することができる。

【0085】また、本発明によれば、紙ベースで扱われていたチケットの情報を直接取り扱うことがなく、会員証カードに記憶されている会員番号や個人情報に置き換えて利用されるので、ペーパーレスにでき、資源の有効活用につながると共に、不正取引を防止することができる。

【0086】また、本発明によれば、チケットが実在しないので、従来のように郵送されるといったことがなく、直接会場に向いて入場ゲートを通過するといった方法で入場することが可能となる。

【0087】また、本発明によれば、申込者が必ずしも店頭に向く必要はなく、自宅にいながらチケットの予約が可能となり、直接会場に行き入場することが可能となるので、従来のように、チケットカウンタやコンビニエンスストア等に向いてチケットを受け取るといった

煩わしさを解消することができる。

【0088】さらに、本発明によれば、同時に異なる複数のチケットを購入した場合でも、ユーザは、1枚の会員証カードで入場することができるので、複数のチケットを持つ必要がなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態である電子チケットシステムの概略構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施形態における会員証カードの実施例を示す平面図である。

【図3】本発明の実施形態である電子チケットシステムの会員証カード発行手続の処理例を示すシーケンスチャートである。

【図4】本発明の実施形態におけるカード申込ページの実施例を示す平面図である。

【図5】本発明の実施形態である電子チケットシステムのチケット予約の処理例を示すシーケンスチャートである。

【図6】本発明の実施形態における希望チケット情報の入力ページの実施例を示す平面図である。

【図7】本発明の実施形態における補助カードの実施例を示す平面図である。

【図8】本発明の実施形態における店頭予約による処理例を示すフローチャートである。

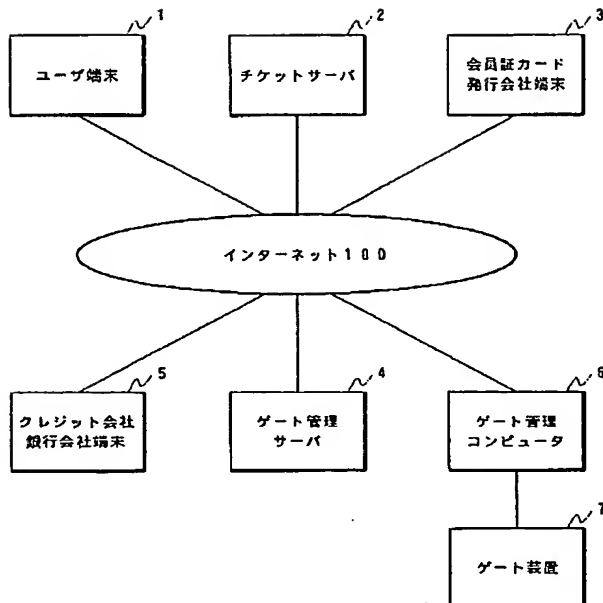
【図9】本発明の実施形態における電話予約による処理例を示すフローチャートである。

【図10】本発明の実施形態である電子チケットシステムのゲート管理の処理例を示すシーケンスチャートである。

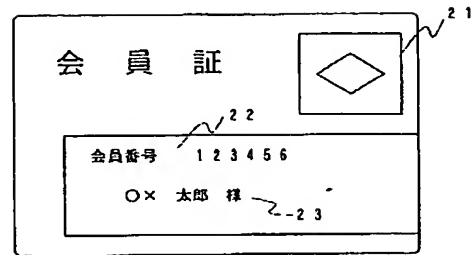
【符号の説明】

- 1 ユーザ端末
- 2 チケットサーバ
- 3 会員証カード発行会社端末
- 4 ゲート管理サーバ
- 5 クレジット会社／銀行会社端末
- 6 ゲート管理コンピュータ
- 7 ゲート装置
- 100 インターネット

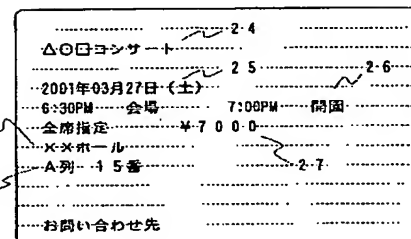
【図1】



【図2】

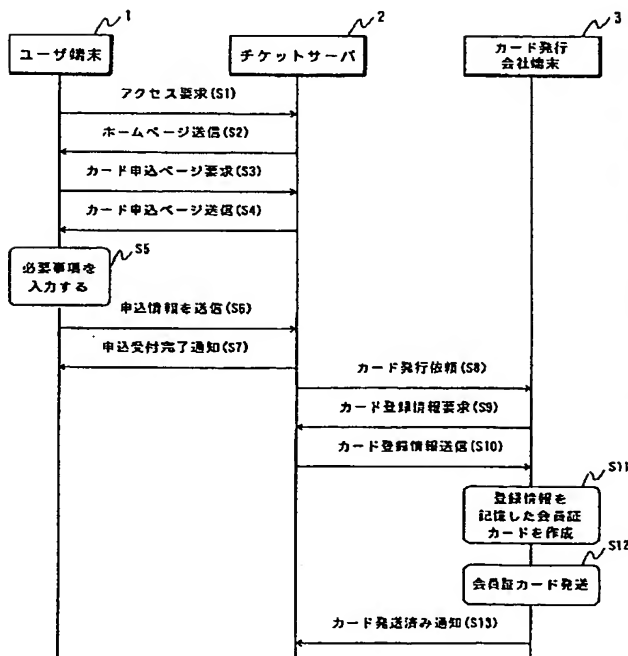


(a)



(b)

【図3】



【図4】

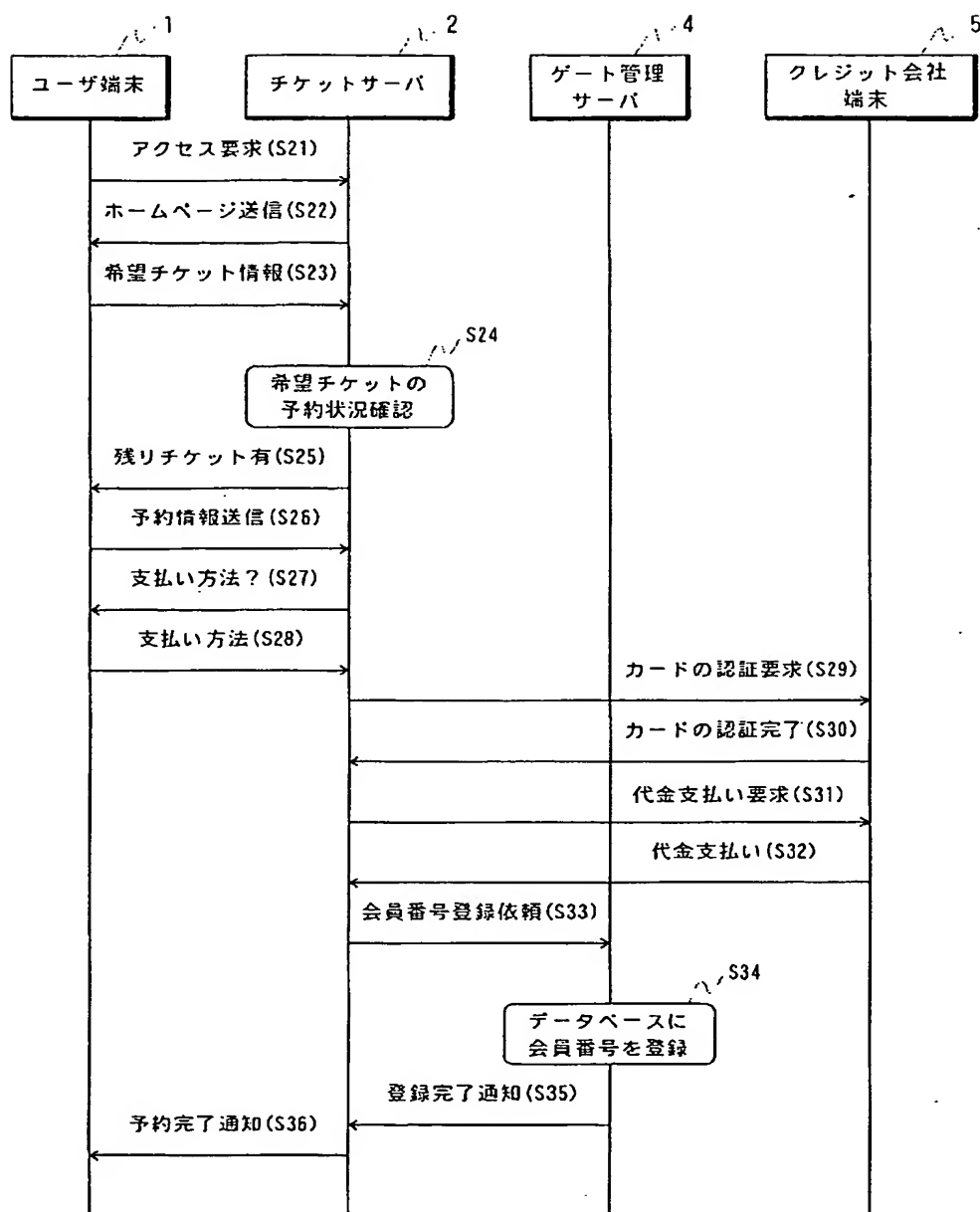
図4は「会員証カード申込ページ」のスクリーンショットを示す。画面には「会員証カード申込ページ」というタイトルがあり、下部には「下記の事項を入力の上、送信ボタンをクリックして下さい。」という指示がある。

入力欄には以下の項目がある：

- 氏名
- 性別
- 生年月日
- 年齢
- 住所
- 電話番号
- 電子メールアドレス

下部には「送信」「修正」「キャンセル」の3つのボタンがある。

【図5】



【図6】

希望チケット情報入力ページ

下記の事項を入力の上、送信ボタンをクリックして下さい。

アーティスト名

イベント名

開催日／開演時間

希望購入枚数

【図7】

補助チケットカード

必ず会場でご返却ください。

◇

(a)

△○□コンサート

2001年03月27日(土) 6:30PM 会場 T:00PM 開演

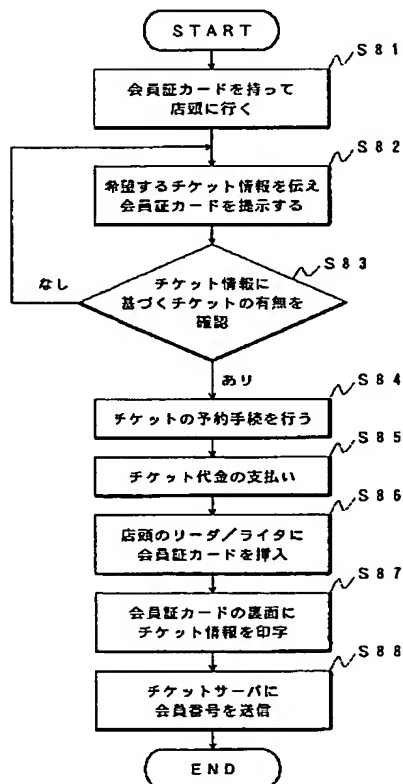
全席指定 ¥7000

××ホール A列 15番

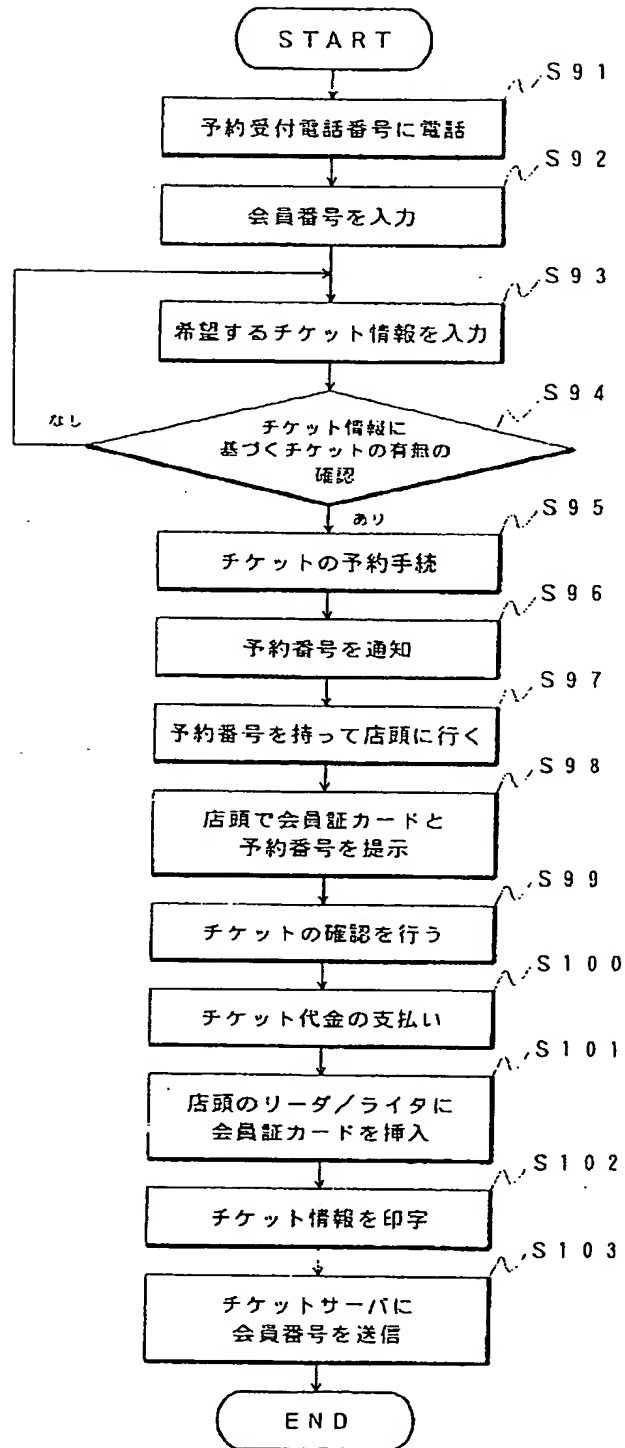
お問い合わせ先

(b)

【図8】



【図9】



【図10】

